

私の友達は、軽度の発達障害を持っています。おそらく、自分の感情をうまくコントロールすることが難しいようです。

なぜ、こんなにも曖昧にしか知らないかということ、直接本人に聞いたことがないからです。私には、「何か障害を持っているの？」と聞く勇気がありません。彼女はそれを知られたくないと思っているかもしれないし、傷つけてしまったらどうしよう、など考えて結局いつも聞けずじまいになってしまいます。

実際、ネットで調べてみると、障害を持っている方が「あまり聞かれたくない。」「障害のことを打ち明けたら離れていく人が何人かいた。」など書き込んでいます。

しかし、それらは、世間の障害に対する間違っただイメージがそうさせてしまっているのだと思います。「障害者」という言葉を聞いて、「普通とは違う人。」だとか「自分とは関係ない人。」などと考える人も少なくないでしょう。けれども、うまく感情をコントロールできなかつたり、発達がおくれていたりする障害を持っている方でも、その部分が違うだけで、あとは私たちと何も変わりません。私たちが何気なくしていることができない分、人一倍努力もしていると思います。それにも関わらず、偏見で差別をしたりする人がいるということをおは許せません。

また、喧嘩をしたときなど相手に「障害者かよ」という人を見かけます。そのようなことを言う人は、障害を持つ人を下に見ているように感じます。

そもそも、「障害者」という言葉は本当に必要なのだろうか、と疑問に思います。障害を持っているだけで、私たちと何も変わらない一人の人間であるのに、どうして「障害者」と「健常者」というふうに区別するのでしょうか。少なくとも障害を持つ方々は、このように区別されたくはないと思います。

例えば、友達の妹が障害を持っている、と知ったらどのように思いますか。「かわいそう。」などと思う人が多いかもしれません。しかし、かわいそうかどうかなんて本人にはしかわかりません。障害を持っていてもバスケットボールや卓球など、じぶんのやりたいことを一生懸命やっている方は、たくさんいます。何か一生懸命取り組める人は、偏見でものを言う人の何百倍も輝いて見えると、私は思います。

障害を持っている方に対して、みんなでクスクス笑いながら話しかけたりしていませんか。障害を持っていても、一人の人間であることには変わりありません。もし、自分が障害を持っていて、そのような接し方をされたら、どうですか。とても悲しいと思います。「障害者だからわからないだろう。」なんて、思っていないですか。障害を持っていても、感情はあります。もちろん、悪口を言われたら悲しいですし、親切にしてもらったら嬉しいと感じると思います。

「障害者なんて普通ではない、関わりたくない。」などと考えている人に、私は言いたいです。「あなたは障害を持っている方としっかり向き合ったことがありますか。何か嫌なことでもされたのですか。偏見で決めつけないでください。」と。

障害を持っていても、持っていなくても、同じ人間です。障害に対する偏見が消えて、どんな人でも毎日笑顔になれる世の中になったら、それが一番の幸せだと思います。一人一人、個性があります。それをしっかり受け止めて、自分なりに相手のことを考えることが、偏見や差別をなくすことに繋がっていくのではないかと、思います。

誰もが「生きてて良かった。」と、そんなふうに思える世の中になることを祈っています。